

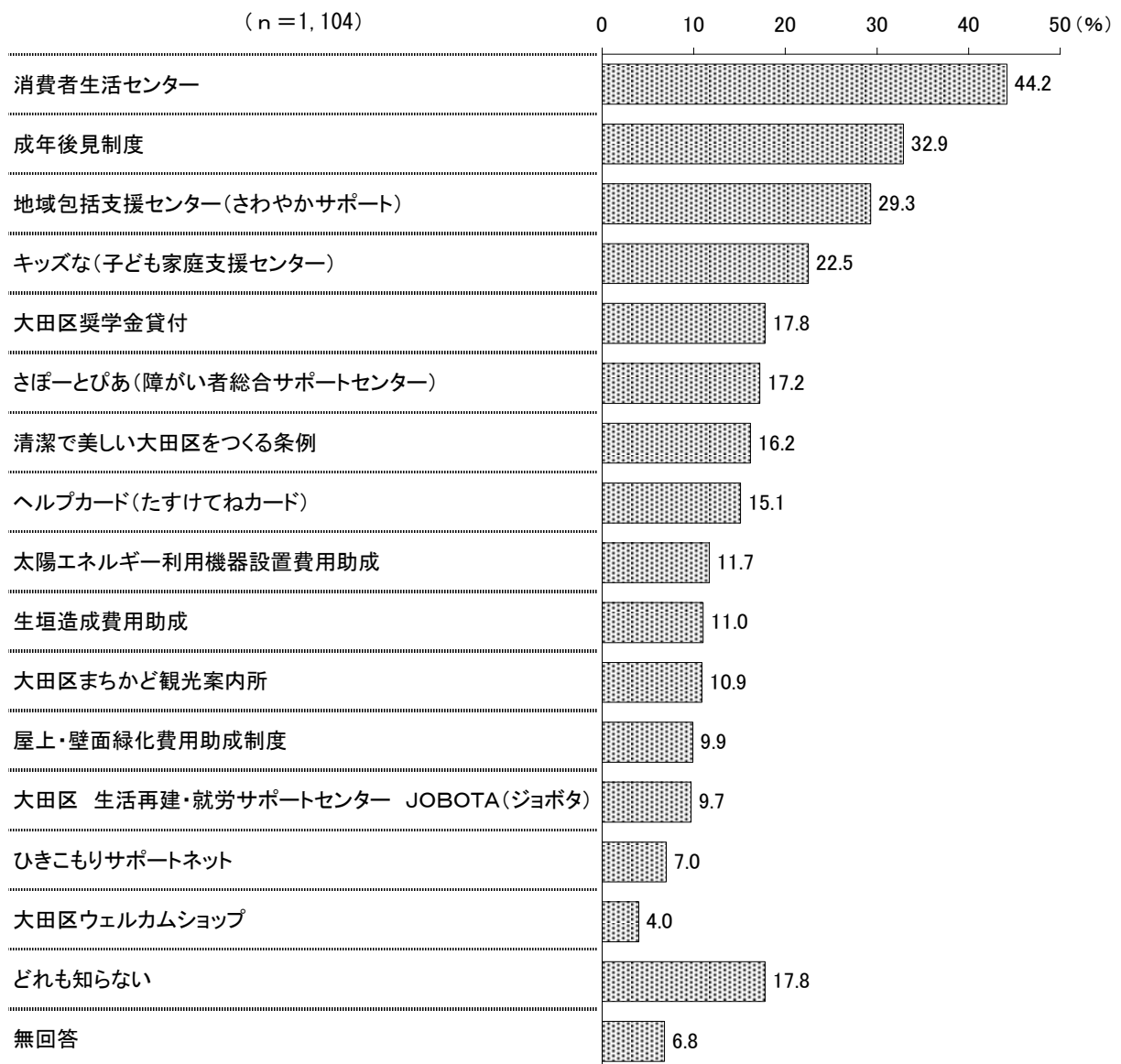
16. 区政への関心と要望

(1) 区の制度・施策・施設の認知度

◇「消費者生活センター」が4割半ば

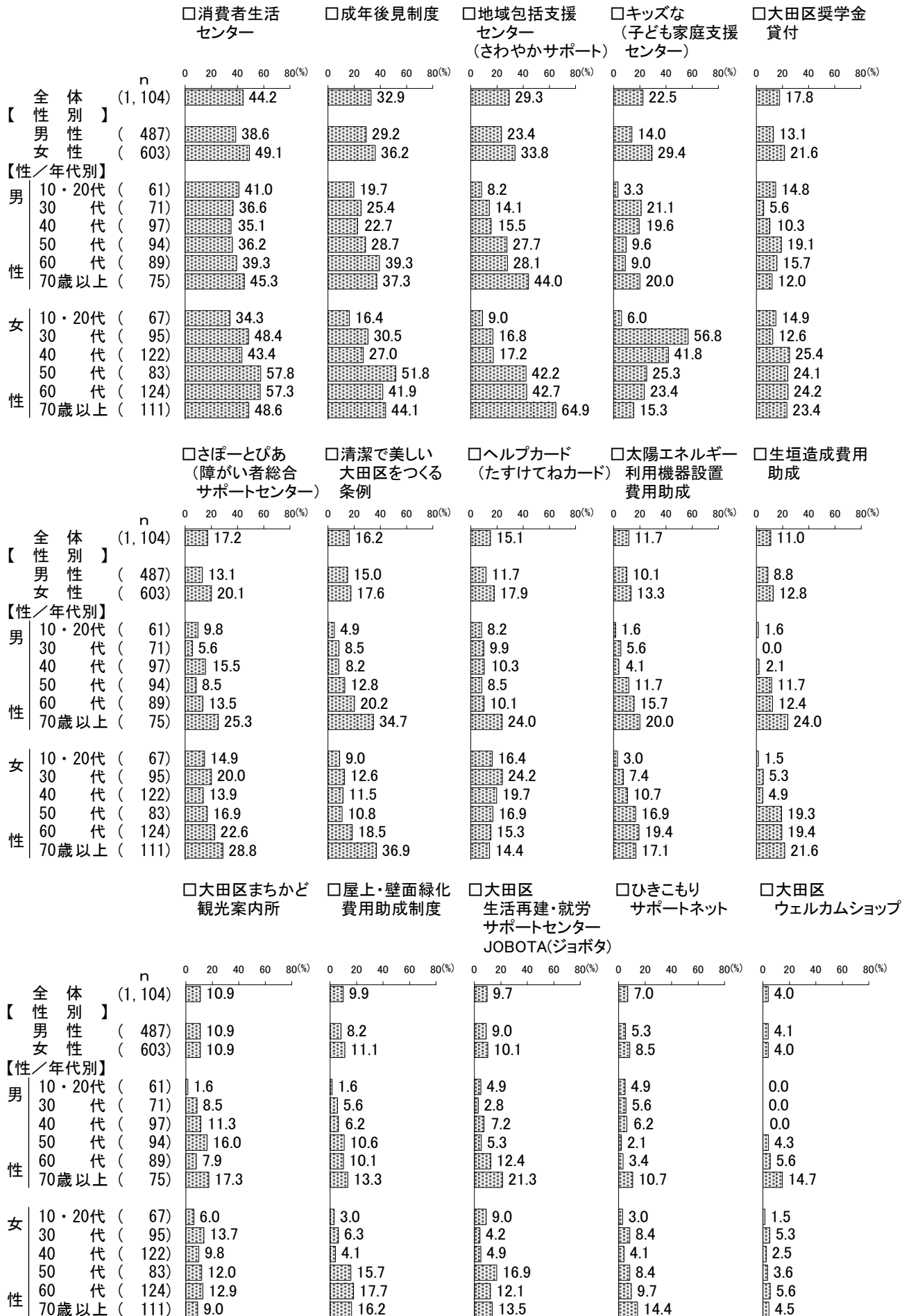
問26 以下の大田区の制度、施策、施設のうち、あなたをご存知なものをすべて挙げてください。(〇はいくつでも)

図16-1-1



区の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「消費者生活センター」(44.2%)が4割半ばで最も高く、次いで「成年後見制度」(32.9%)、「地域包括支援センター(さわやかサポート)」(29.3%)、「キッズな(子ども家庭支援センター)」(22.5%)、「大田区奨学金貸付」(17.8%)などの順となっている。(図16-1-1)

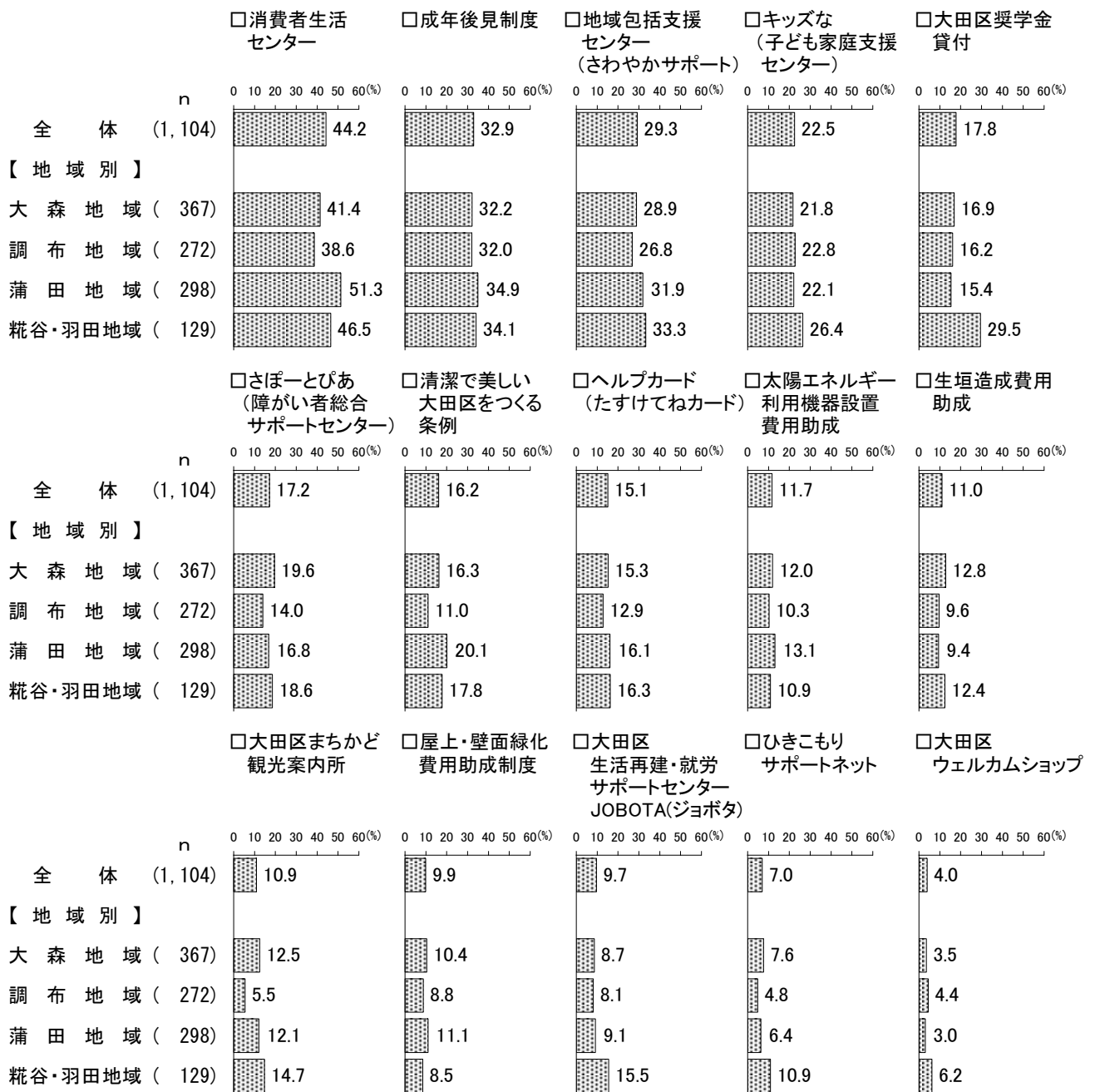
図16-1-2 区の制度・施策・施設の認知度—性／年代別



性別でみると、多くの項目で女性が男性を上回っており、「キッズな（子ども家庭支援センター）」は女性（29.4%）が男性（14.0%）より15.4ポイント、「消費者生活センター」は女性（49.1%）が男性（38.6%）より10.5ポイント、「地域包括支援センター（さわやかサポート）」は女性（33.8%）が男性（23.4%）より10.4ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別でみると、「消費者生活センター」は女性50代（57.8%）と女性60代（57.3%）で6割近くと高くなっている。「成年後見制度」は女性50代（51.8%）で5割を超えて高くなっている。「地域包括支援センター（さわやかサポート）」は女性70歳以上（64.9%）で6割半ばと高くなっている。「キッズな（子ども家庭支援センター）」は女性30代（56.8%）で6割近くと高くなっている。（図16-1-2）

図16-1-3 区の制度・施策・施設の認知度—地域別



地域別でみると、「消費者生活センター」は蒲田地域（51.3%）で5割を超えて高くなっている。「大田区奨学金貸付」は糀谷・羽田地域（29.5%）で3割と高くなっている。（図16-1-3）

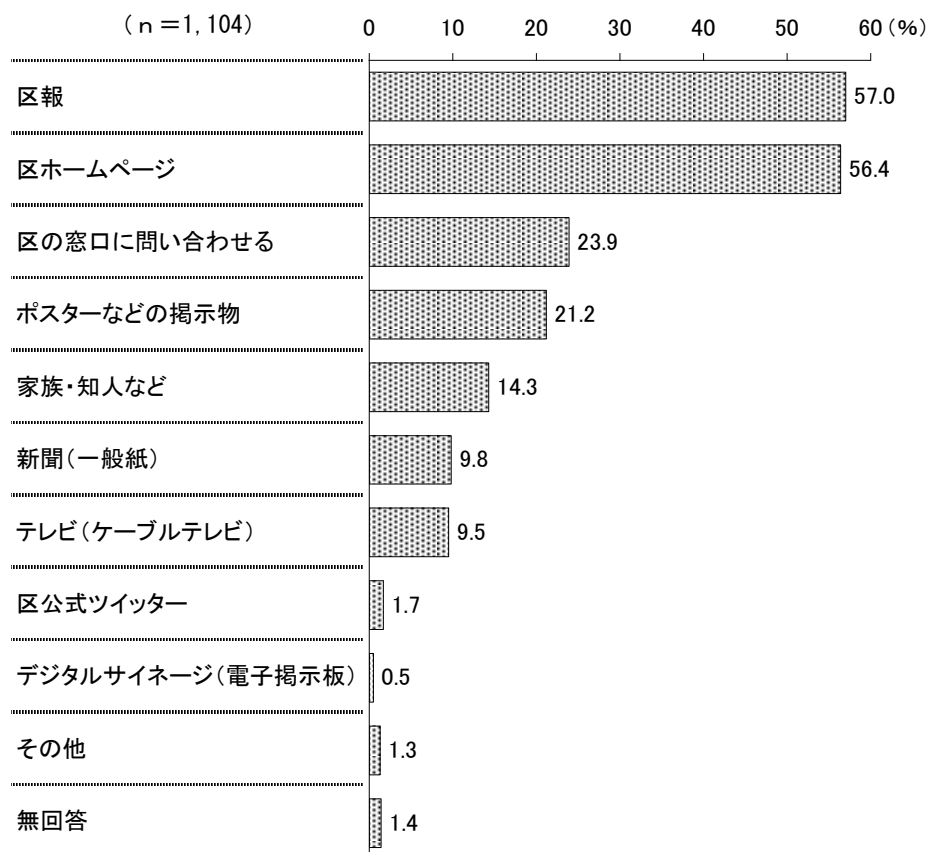
(2) 区の情報を知るために利用する媒体

◇「区報」が6割近く

問27 大田区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用しますか。

(〇はいくつでも)

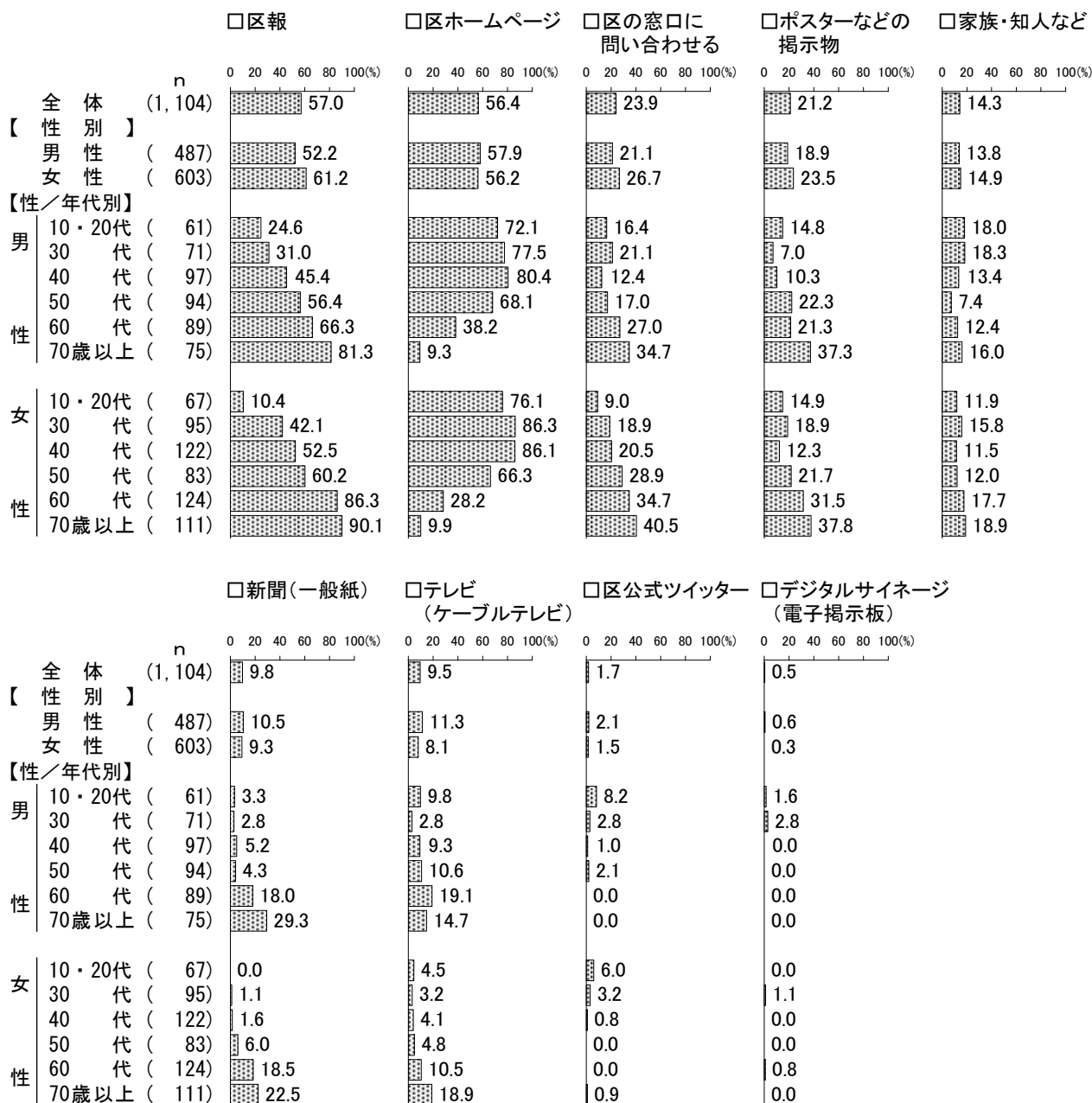
図16-2-1



区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用するか聞いたところ、「区報」(57.0%)が6割近くで最も高く、次いで「区ホームページ」(56.4%)、「区の窓口にお問い合わせ」(23.9%)、「ポスターなどの掲示物」(21.2%)、「家族・知人など」(14.3%)などの順となっている。

「その他」への回答として、「くらしのガイド」、「インターネットで検索する」などがあげられている。(図16-2-1)

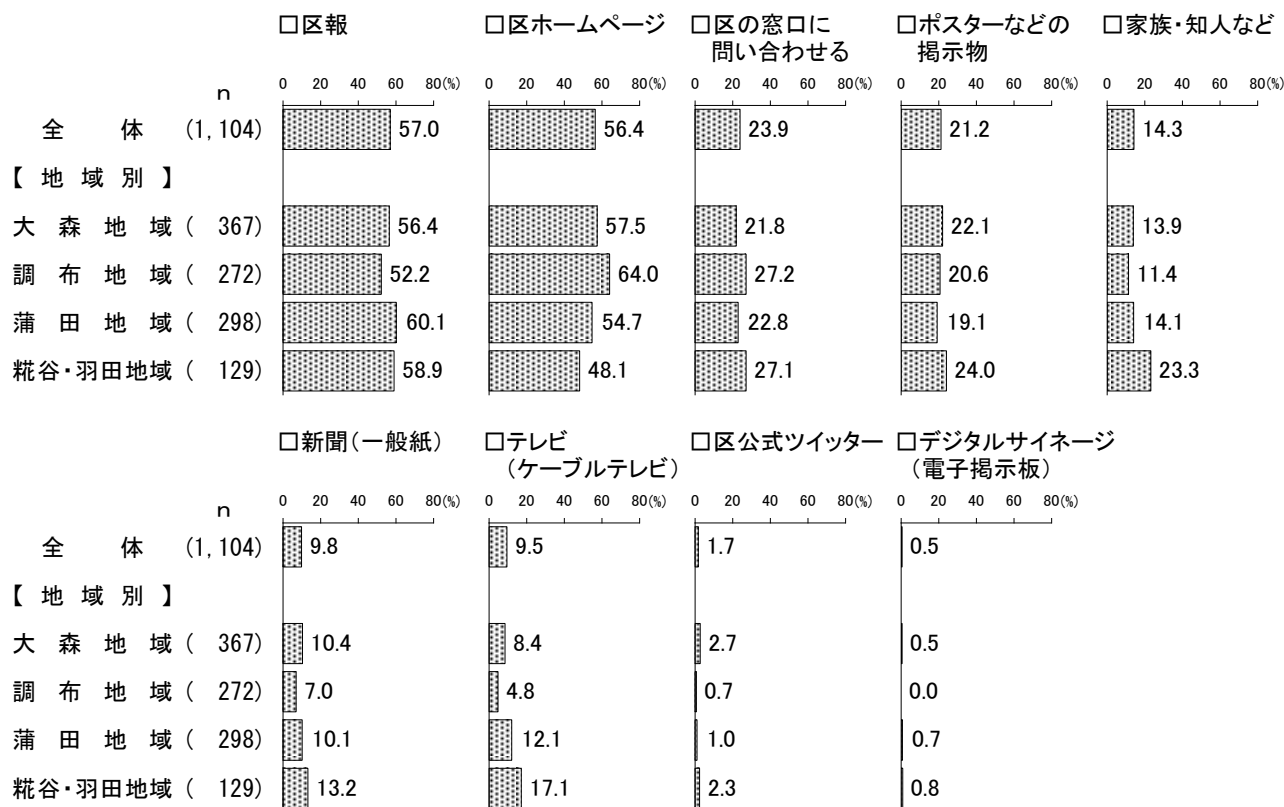
図16-2-2 区の情報を知るために利用する媒体—性／年代別



性別で見ると、「区報」は女性（61.2%）が男性（52.2%）より9.0ポイント高くなっている。「区の窓口にお問い合わせる」は女性（26.7%）が男性（21.1%）より5.6ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「区報」は男女ともに年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（90.1%）で9割となっている。「区ホームページ」は女性30代（86.3%）と女性40代（86.1%）で8割半ばと高くなっている。「区の窓口にお問い合わせる」は女性70歳以上（40.5%）で約4割と高くなっている。「ポスターなどの掲示物」は男性70歳以上（37.3%）と女性70歳以上（37.8%）で4割近くと高くなっている。（図16-2-2）

図16-2-3 区の情報を知るために利用する媒体—地域別

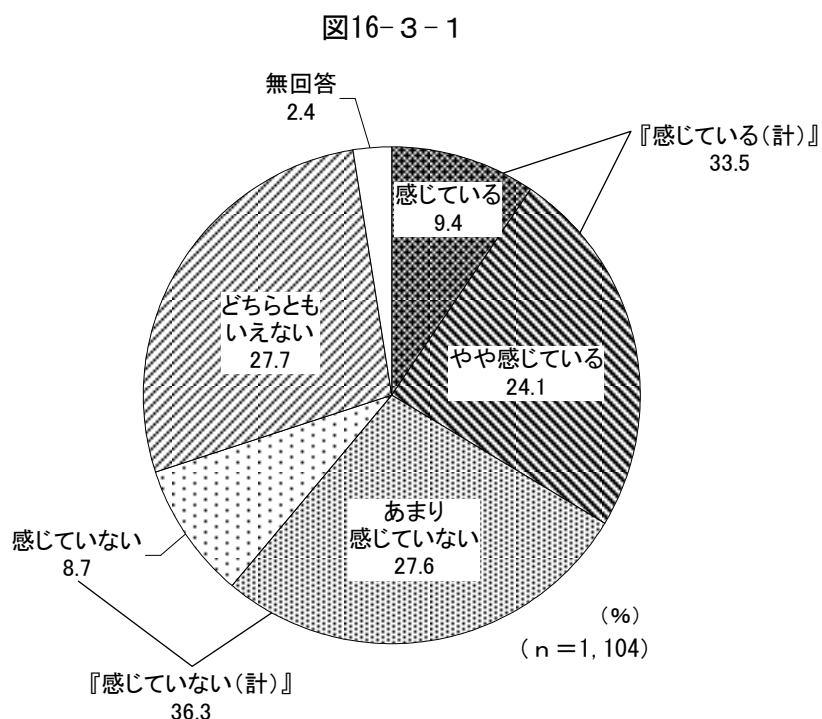


地域別でみると、「区ホームページ」は調布地域（64.0%）で6割半ばと高くなっている。「家族・知人など」は糀谷・羽田地域（23.3%）で2割を超えて高くなっている。「テレビ（ケーブルテレビ）」は糀谷・羽田地域（17.1%）で2割近くとなっている。（図16-2-3）

(3) 区の情報公開

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は3割を超える

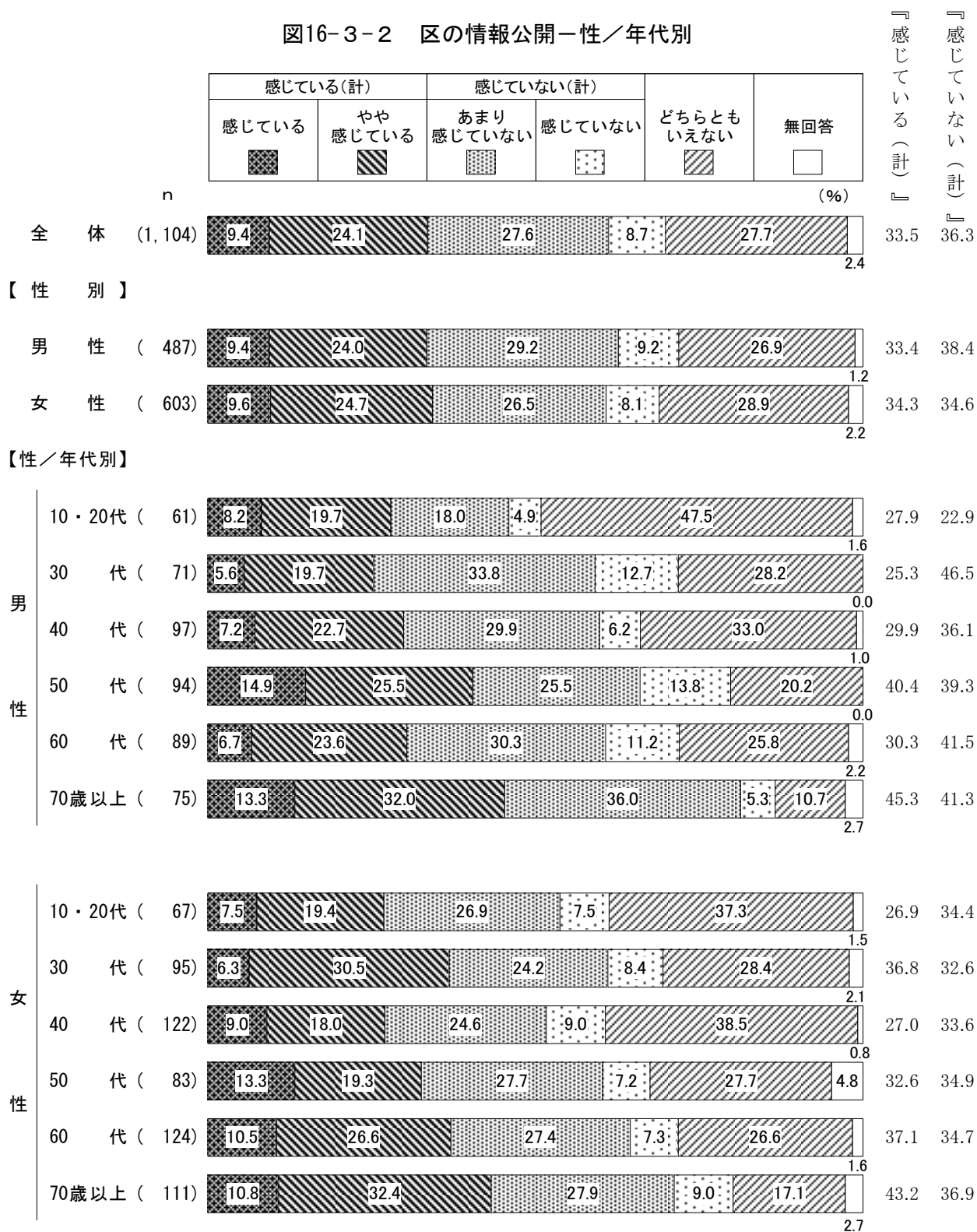
問28 区政情報が適切に公開されていると感じていますか。(○は1つだけ)



区政情報が適切に公開されていると感じているか聞いたところ、「感じている」(9.4%)と「やや感じている」(24.1%)を合わせた『感じている(計)』(33.5%)は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」(27.6%)と「感じていない」(8.7%)を合わせた『感じていない(計)』(36.3%)は3割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(27.7%)は3割近くとなっている。

(図16-3-1)

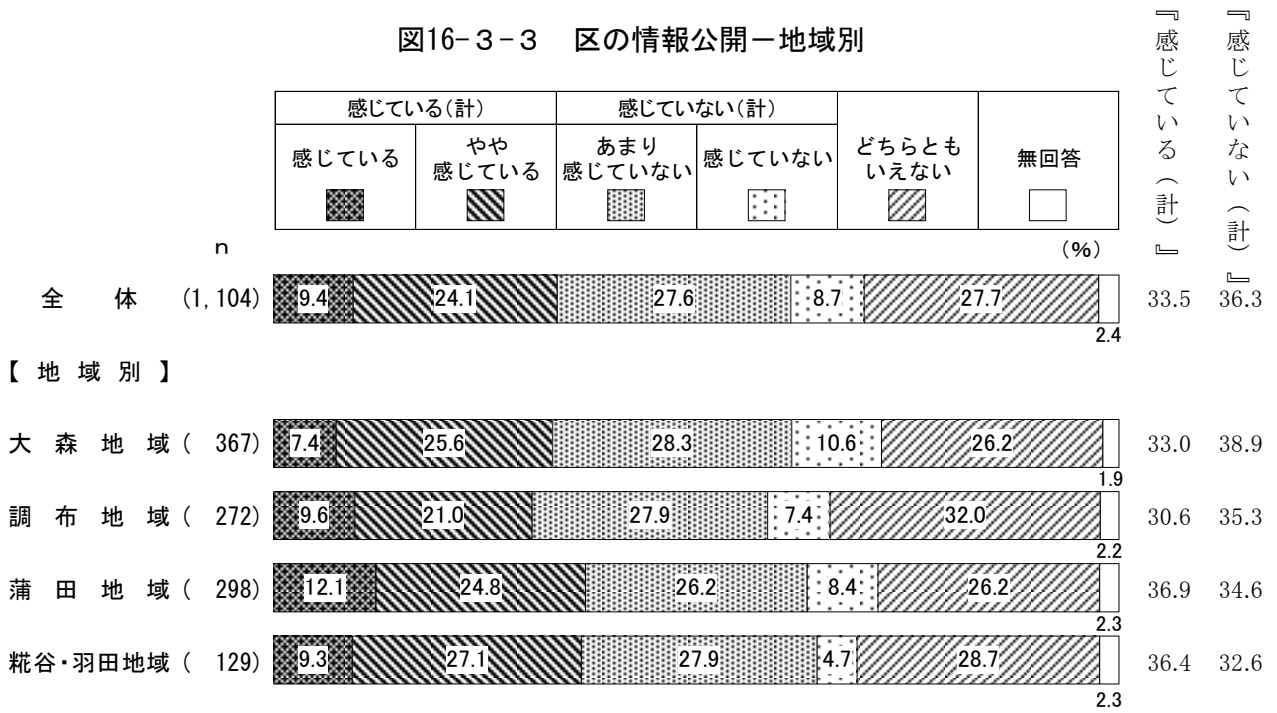
図16-3-2 区の情報公開一性／年代別



性別で見ると、『感じていない(計)』は男性(38.4%)が女性(34.6%)より3.8ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『感じている(計)』は男性70歳以上(45.3%)で4割半ば、女性70歳以上(43.2%)で4割を超えて高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性30代(46.5%)で5割近くと高くなっている。(図16-3-2)

図16-3-3 区の情報公開—地域別

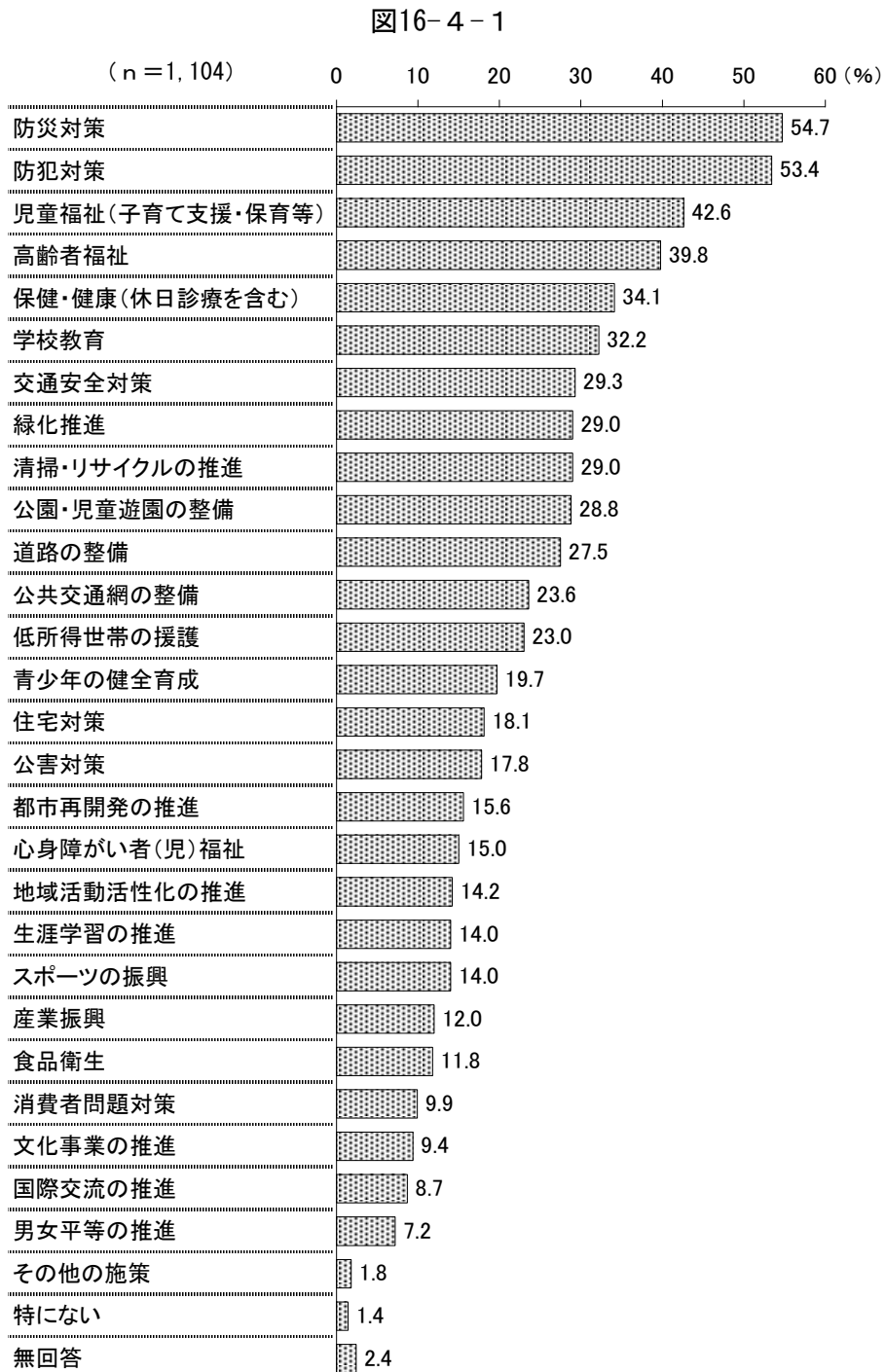


地域別でみると、『感じている(計)』は蒲田地域(36.9%)で4割近くと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は大森地域(38.9%)で4割近くと高くなっている。(図16-3-3)

(4) 施策要望

◇「防災対策」が5割半ば

問29 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)



区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(54.7%)が5割半ばで最も高く、次いで「防犯対策」(53.4%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(42.6%)、「高齢者福祉」(39.8%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(34.1%)、「学校教育」(32.2%)などの順となっている。

「その他の施策」への回答として、「駅周辺の駐輪場の整備」、「野良猫の保護・衛生対策」などがあげられている。(図16-4-1)

表16-4-1 施策要望一経年比較（上位10項目）

	平成28年	平成27年	平成26年	平成24年	平成22年
1位	防災対策 (54.7)	← 防災対策 (54.5)	← 防災対策 (50.1)	← 防災対策 (50.0)	← 高齢者対策 (52.5)
2位	防犯対策 (53.4)	← 防犯対策 (51.5)	← 高齢者福祉 (37.4)	← 高齢者対策 (35.9)	← 防災対策 (36.4)
3位	児童福祉(子育て支援・保育等) (42.6)	← 高齢者福祉 (43.4)	← 緑化推進 (31.5)	← 緑化推進 (35.6)	← 道路の整備 (36.2)
4位	高齢者福祉 (39.8)	← 児童福祉(子育て支援・保育等) (41.9)	← 交通安全対策 (24.5)	← 道路の整備 (34.7)	← 休日診療対策 (32.5)
5位	保健・健康(休日診療を含む) (34.1)	← 保健・健康(休日診療を含む) (38.3)	← 休日診療 (24.5)	← 交通安全対策 (26.4)	← 緑化推進 (30.5)
6位	学校教育 (32.2)	← 緑化推進 (34.7)	← 道路の整備 (24.3)	← 休日診療対策 (25.7)	← 交通安全対策 (26.8)
7位	交通安全対策 (29.3)	← 学校教育 (32.2)	← 公園・児童遊園の整備 (23.4)	← 公園・児童遊園の整備 (24.6)	← 公園・児童遊園の整備 (25.8)
8位	緑化推進 (29.0)	← 清掃・リサイクルの推進 (29.3)	← 保健・健康 (23.3)	← 清掃・リサイクルの推進 (20.1)	← 低所得世帯の援護 (23.1)
9位	清掃・リサイクルの推進 (29.0)	← 公園・児童遊園の整備 (28.3)	← 清掃・リサイクルの推進 (21.4)	← 保健・健康対策 (20.0)	← 保健・健康対策 (22.8)
10位	公園・児童遊園の整備 (28.8)	← 交通安全対策 (28.2)	← 公共交通網の整備 (18.9)	← 公害対策 (19.8)	← 住宅対策 (22.0)

※「高齢者福祉」は平成24年度までは「高齢者対策」、「児童福祉(子育て支援・保育等)」は平成26年度までは「児童福祉」となっていた。

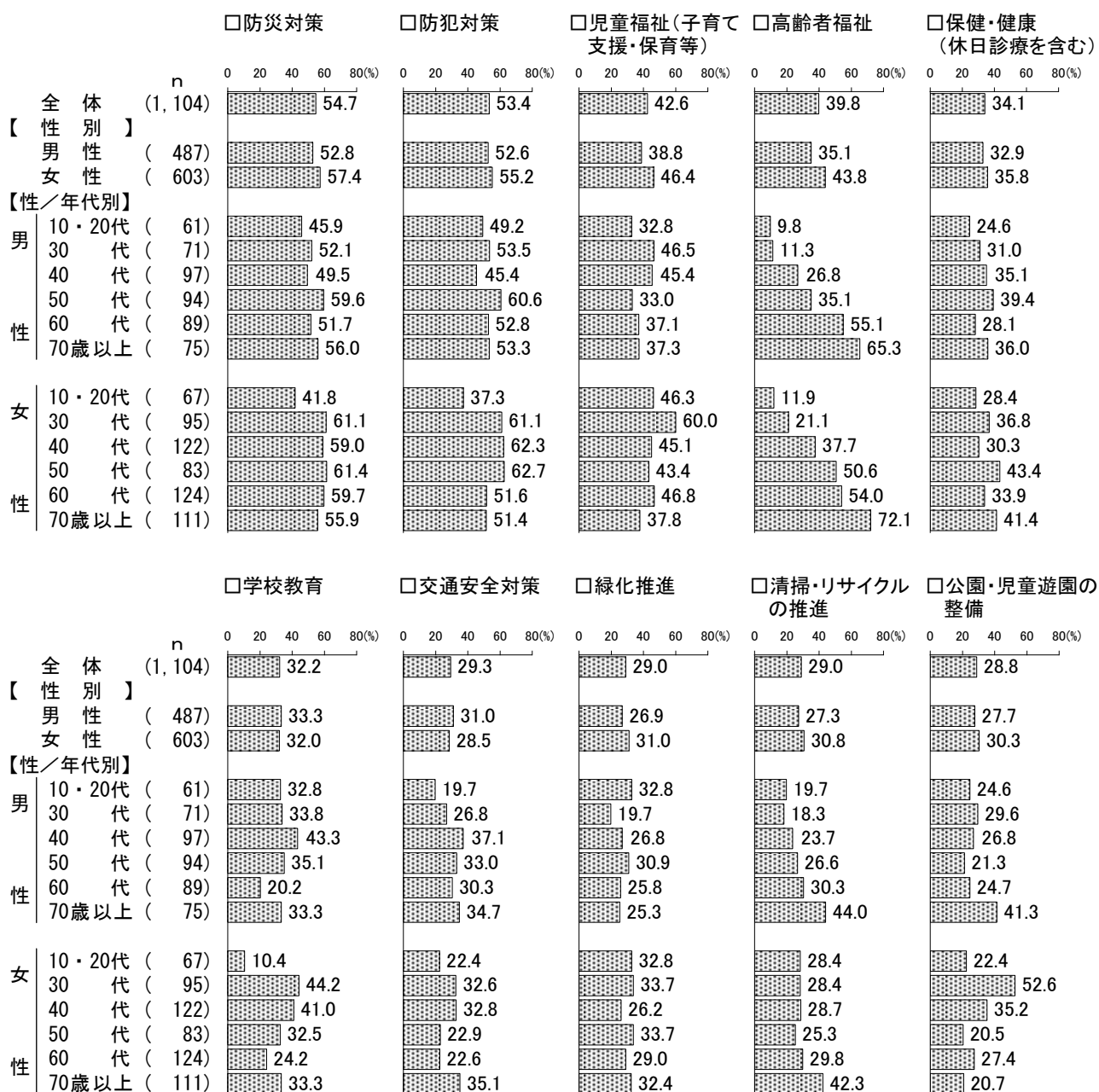
※「保健・健康(休日診療を含む)」は平成26年度までは「保健・健康」と「休日診療」(平成24年度までは「休日診療対策」)の2つの選択肢となっていた。

※「学校教育」と「防犯対策」は平成27年度から追加されている。

※同ポイントの項目は選択肢の順に記載している。

上位10項目の経年比較については、平成26年以前の選択肢が今回調査と一部異なるため、平成26年以前の結果は参考となるが、「防災対策」は平成24年度以降1位となっている。また、「防犯対策」は平成27年に引き続き2位となっている。「児童福祉(子育て支援・保育等)」、「高齢者福祉」、「保健・健康(休日診療を含む)」の3項目は、順位の変動はあるものの平成27年に引き続き3位から5位までにあげられている。(表16-4-1)

図16-4-2 施策要望一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、「高齢者福祉」は女性（43.8%）が男性（35.1%）より8.7ポイント高くなっている。「児童福祉（子育て支援・保育等）」は女性（46.4%）が男性（38.8%）より7.6ポイント高くなっている。

上位10項目を性／年代別で見ると、「児童福祉（子育て支援・保育等）」は女性30代（60.0%）で6割と高くなっている。「高齢者福祉」は女性70歳以上（72.1%）で7割を超え、男性70歳以上（65.3%）で6割半ばと高くなっている。「学校教育」は女性30代（44.2%）で4割半ばと高くなっている。「清掃・リサイクルの推進」は男性70歳以上（44.0%）で4割半ばと高くなっている。「公園・児童遊園の整備」は女性30代（52.6%）で5割を超えて高くなっている。（図16-4-2）

表16-4-2 施策要望—地域別（上位5項目）

（%）

	n	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	1,104	防災対策 (54.7)	防犯対策 (53.4)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (42.6)	高齢者福祉 (39.8)	保健・健康 (休日診療を含む) (34.1)
大 森 地 域	367	防災対策 (56.9)	防犯対策 (49.9)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (41.7)	高齢者福祉 (37.6)	保健・健康 (休日診療を含む) (33.0)
調 布 地 域	272	防災対策 (54.4)	防犯対策 (53.7)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (43.4)	学校教育 (37.9)	高齢者福祉 (36.4)
蒲 田 地 域	298	防犯対策 (57.0)	防災対策 (52.7)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (43.6)	高齢者福祉 (41.3)	保健・健康 (休日診療を含む) (32.2)
糀谷・羽田地域	129	防災対策 (58.9)	防犯対策 (57.4)	高齢者福祉 (47.3)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (45.7)	保健・健康 (休日診療を含む) (41.9)

上位5項目を地域別で見ると、「防災対策」は大森地域、調布地域、糀谷・羽田地域で1位となっており、蒲田地域で2位となっている。「防犯対策」は蒲田地域で1位となっており、大森地域、調布地域、糀谷・羽田地域で2位となっている。「児童福祉（子育て支援・保育等）」は大森地域、調布地域、蒲田地域で3位となっており、「高齢者福祉」は糀谷・羽田地域で3位となっている。

（表16-4-2）